

ただし、 W : 本品の採取量 (g)

総 BHC の量 (ppm)

= α -BHC の含量 (ppm) + β -BHC の含量 (ppm)
+ γ -BHC の含量 (ppm) + δ -BHC の含量 (ppm)

総 DDT の量 (ppm)

= o,p' -DDT の含量 (ppm) + p,p' -DDT の含量 (ppm) + p,p' -DDD の含量 (ppm) + p,p' -DDE の含量 (ppm)

操作条件

検出器 : 電子捕獲検出器

注入方法 : スプリットレス注入法

カラム : 内径約 0.3 mm, 長さ約 30 m の石英製キャピラリーカラムの内壁にガスクロマトグラフ用 7 % シアノプロピル-7 % フェニル-メチルシリコーンポリマーを 0.25 ~ 1.0 μ m の厚さで被覆したもの.

カラム温度 : 注入後, 2 分間 60 °C に保ち, その後, 200 °C まで毎分 10 °C で昇温し, 次いで 260 °C まで毎分 2 °C で昇温する.

キャリアーガス : ヘリウム

流量 : すべての対象物質の保持時間が 10 分から 30 分となるように調整する.

カラムの選定 : 標準溶液 1 μ L につき, 上記の条件で操作するとき, それぞれのピークが完全に分離するものを用いる.

試験の再現性 : 上記の条件で標準溶液につき, 試験を 6 回繰り返すとき, 各対象物質のピーク面積の相対標準偏差は 10 % 以下である.

乾燥減量 13.0 % 以下 (6 時間).

灰分 4.2 % 以下.

酸不溶性灰分 0.5 % 以下.

エキス含量 希エタノールエキス 14.0 % 以上.

貯法 容器 気密容器.

白色軟膏

White Ointment

製法

サラシミツロウ	50 g
セスキオレイン酸ソルビタン	20 g
白色ワセリン	適量
全量	1000 g

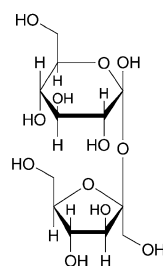
以上をとり, 軟膏剤の製法により製する.

性状 本品は白色で, わずかに特異なおいがある.

貯法 容器 気密容器.

白糖

White Soft Sugar



$C_{12}H_{22}O_{11}$: 342.30

β -D-Fructofuranosyl- α -D-glucopyranoside [57-50-1]

性状 本品は無色又は白色の結晶又は結晶性の粉末で, おいはなく, 味は甘い.

本品は水に極めて溶けやすく, エタノール (95) に極めて溶けにくく, ジエチルエーテルにほとんど溶けない.

本品の水溶液 (1 \rightarrow 10) は中性である.

確認試験

- (1) 本品 1 g を加熱するとき, 融解してふくれ上がり, カラメルのにおいを発して, かき高い炭化物となる.
- (2) 本品 0.1 g に希硫酸 2 mL を加えて煮沸し, 水酸化ナトリウム試液 4 mL 及びフェーリング試液 3 mL を加えて沸騰するまで加熱するとき, 赤色~暗赤色の沈殿を生じる.

旋光度 $[\alpha]_D^{20}$: +65.0 ~ +67.0 ° (乾燥後, 13 g, 水, 50 mL, 100 mm).

純度試験

(1) 溶状 本品 100 g を水 100 mL に溶かし, この液 50 mL をネスラー管にとり, 白色の背景を用い側方から観察するとき, 液は無色又はわずかに黄色で, 青色を呈しない. 更にこの液をネスラー管に充滿し, 密栓して 2 日間放置するとき, 沈殿を生じない.

(2) 塩化物 本品 10.0 g を水に溶かし 100 mL とし, 試料溶液とする. この液 20 mL に希硝酸 6 mL 及び水を加えて 50 mL とする. これを検液とし, 試験を行う. 比較液には 0.01 mol/L 塩酸 0.30 mL を加える (0.005 % 以下).